割烹店で美酒飲み比べイベントも開催

こだわりの日本酒とワインの酒店

加島屋商店

お酒の話をすると熱が入る矢島正夫社長

加島屋商店（府中市、矢島正夫社長、042・361・2521）は1889年（明治22年）から続く老舗の酒類販売会社。業務店への酒類配送の他、府中駅前の商業施設「フォーリス」内の店舗では、こだわりのワインや日本酒を販売する。

80年代に酒類販売業免許の規制緩和があり、ディスカウント店におされてビールの売り上げが激減。そこでワインと日本酒に注力するスタイルに切り替えた。

矢島社長はドイツワインの専門家古賀守さんやソムリエ田崎真也さんのセミナーや、パリ発祥のワインスクール「アカデミー・デュ・ヴァン」に通い、ワインの知識を取得。約1000本を収納できるワインセラーを作り、高級ワインを取りそろえる。さらに日本酒の蔵元を巡り、新潟の銘酒「〆張鶴」などと契約を結んでいった。

その一方で、日本人がいかに〝ブランド〟に振り回されているかを実感。そこでブランドにこだわらず、安価でも味わい深い酒も仕入れ始めた。

「日本人にはもっと自由にお酒を楽しんで欲しい」と矢島社長は話す。

そんな父親の姿をみて息子の矢島淳之介専務もワインのソムリエと日本酒のプロとも言える「唎酒師」の資格を取ってフォーリス店を切り盛りする。19年3月には府中の人気の割烹店「割烹阿吽」で、新潟の酒「八海山」の「しぼりたて原酒」や「瓶内二次発酵酒」の飲み比べを行うなど、若者の視点で美酒普及に尽力している。

ワインセラーにずらりと並ぶワイン

法律相談で不安を「安心」に変える

頼れる街の弁護士を目指す

弁護士法人 あさかぜ 法律事務所

「お客さまとの信頼関係を大切にしています」と吉岡代表弁護士

弁護士法人あさかぜ法律事務所（府中市、吉岡誠代表弁護士、042・310・9898）は2011年に山口県柳井市で、民事・刑事を問わず、交通事故の示談や相続、事業継承など幅広い案件を取り扱う総合法律事務所として出発した。クライアントの要望と真剣に向き合う誠実な仕事が評価されている。

代表弁護士を務める吉岡氏は銀座の法律事務所で研さんを積んだ後、実家がある山口県に戻って独立・開業した。学生時代を過ごした府中市や多摩地域に愛着を感じ、アクセスの良さなども考慮し、府中市に府中大國魂神社前事務所を開設。事務所の名前はかつて東京と下関を結んでいた寝台特急「あさかぜ」が由来。長距離の移動もいとわず、福島県まで車を走らせたこともある。多様な案件を扱ってきた経験と機動力の高さが吉岡代表の強みだ。

「弁護士に相談を持ち込まれた時点で、すでに何らかのトラブルに巻き込まれている方が多い。皆さんの不安を和らげるために、コミュニケーションを大事にしています」とクライアントの利益のために日々奔走する。

「気軽に相談できる法律家でありたい」と、山口と東京を行き来し、月に一度、府中市内のカフェで無料の法律相談を行っている。

「気になることがあれば、まずはお話をお聞かせください」と吉岡代表は語る。

府中大國魂神社前事務所は1人の弁護士と3人の事務局スタッフが常駐

公差ゼロを目指した精密板金加工

航空機部品中心に高精度・高品質製品を製造

フナキ

精密板金加工・溶接のフナキ（羽村市、船木直身社長、042・570・0233）は、航空機部品を中心にさまざまな製品を製造している。

扱う材質は鉄、ステンレス、アルミ、パンチングメタル、縞鋼板などで、いろいろな厚さの板状の金属からタレパン加工・曲げ加工（ベンダー）、タッピング、溶接など、ニーズに合わせてさまざまな製品を製造する。「精度と仕上がりにこだわり、公差ゼロを目指した製作」を心掛けている。

航空機部品の製造が約6割を占め、エアバス、ボーイングの旅客機のギャレー（調理場）、ラバトリー（化粧室）、シート、コックピットなどの金属パーツを注文に応じて製造。今後は航空機の溶接も取り入れるため、準備を進めている。

他に空調機の枠や医薬関連のクリーンブース、半導体、情報機器装置など、大物～小物の精密板金で高精度・高品質の製品を造り出す。板金製作の種類は千点ほどに上る。

多品種小ロット、試作1品から千点程度の量産品まで幅広く対応。一貫生産や多様な大きさの加工品の生産など、さまざまな要望に確実に応えるために、多様な設備をそろえ、少人数ながら、ものづくりに情熱を持った技術者が仕事に取り組んでいる。

3年ほど前から息子で20代の貴裕さん、裕喜さん兄弟が取締役になり、タッグを組んで同社を支えている。「品質はもちろん、感謝の気持ちを忘れず、お客さまの立場に立った丁寧な仕事を続けていきたい」という。

タレットパンチプレス機などが整う

羽村市緑が丘の工場地帯にある同社の前に立つ船木貴裕取締役

地域とともに生きる!

地域貢献企業図鑑

第45回

東村山市

ポールスタア

工場をテーマパーク化 地域の活性化や観光に貢献

6代目となる桜井憲一社長

ソースやタレなどの調味料を開発・製造・販売するポールスタア（東村山市、桜井憲一社長、042・395・0554）は東村山市の地域観光を大きくけん引している。

現在、同社が急速に進めているのが、工場の〝テーマパーク化〟だ。「当社で1日過ごせるようにしたい」と語る桜井社長は、江戸時代に造られた土蔵に直売所を移して、東村山の国宝にあやかった「千体地蔵ソース」や清瀬ニンジンや狭山茶などを使った「西武線ソース」など、〝ご当地ソース〟を販売している。もう一つの土蔵は工場改修時に見つかった屏風などを予約制で公開する「花筵堂ホール」とした。さらに、2019年6月には宇宙船をイメージした工場見学用の通路「星のトンネル」を新設した他、秋には旧直売所を「ファクトリーカフェ」としてオープンする予定だ。

また、「食を通して東村山を楽しむ」活動にも積極的に取り組んでいる。イカ墨と鹿児島産の黒酢を使った「黒焼そば」は、今や東村山を代表する〝ご当地B級グルメ〟に成長。「東村山菖蒲まつり」や「西武・電車フェスタ」などのイベントで人気を集め、「スパイシーでさっぱりとした味わいがクセになる」とリピーターを増やしている。

自社イベントも主催し、「いちょうまつり」の他、地元の飲食店百軒以上と連携して行う「東村山黒焼そば食べ歩きキャンペーン」は、今年で11回目となり、年々参加店を増やしている。

桜井社長は「当社のソースは漢方薬にも使われる13種のスパイスと生野菜のスープに酢・塩・トマト・果物を加え、油も添加物も一切使っていません。今後も地域一丸となって『食』を通して東村山を盛り上げたい」と話す。

黒焼そばソースの他、赤焼そばソースもある

江戸時代の土蔵を改装した直売場

開園約100年の日本最大級ペット霊園

飼い主も一緒に入れる納骨堂と墓地を運営

慈恵院

住職代務の田中さん

禅寺院の慈恵院（府中市、永田恵堂住職、042・365・7676）は、ペット霊園として有名な多摩犬猫霊園を管理運営している。

多摩犬猫霊園は慈恵院の附属施設として1921年（大正10年）に開園。ペット霊園としては日本最大級の約4000坪を有する。当初、納骨はペットのみだったが72年に飼い主も一緒に入れる納骨堂を作り、一緒に入れる墓地も作った。

核家族化や単身世帯の増加でペットが家族の一員となり、人と同じように葬儀や納骨する人が急増。僧侶と職員が365日対応し、読経、火葬、納骨、法要供養、納骨管理から飼い主の心のケアまで行う。午前9時～午後4時の間であれば予約なしでも読経が受けられる。年間で約1万3000件の葬儀を行っている。

人間と動物を同じように供養するのが特徴で、火葬炉は13基あり、超大型犬（70kg以上）にも対応できる。犬や猫だけではなく小鳥なども納骨し供養する。

また、葬儀は立会葬、個別葬、合同葬がある。個別葬の場合は納骨堂で最初の2年間は無料で預けられる。

住職代務の田中章恵さんは「飼い主はペットを失うと大きな喪失感に苦しみます。供養は亡くなった動物たちのためであり、生きている人の心の整理のためでもあります。生きている人がどうしたら充実した人生を送れるか、これからも供養に来た方に問い続けます」と穏やかに語る。

2020年には敷地内に大きな本堂ができ、人とペットが一緒に入れるお墓も増える予定。

開園してまもなく100年を迎える多摩犬猫霊園

脊柱管狭窄症の人が多く通う施術院

痛みにアプローチする独自の技術

桃木施術院

桃木施術院（小平市、桃木弘治代表、042・341・5161）は鷹の台駅から徒歩6分、玉川上水沿いにある完全予約制の施術院だ。桃木代表は国家資格の柔道整復師で、整骨院で十数年の経験を積んだ後、2017年12月に開業。豊富な臨床経験と医学的知識を強みに、脊柱管狭窄症やスポーツ障害などに悩む人に施術している。

パワーリフティングを行っていた桃木代表

「一般的に脊柱管狭窄症は、『骨の変形』『筋肉の硬直』『骨盤のゆがみ』が痛みの原因と説明されますが、慢性痛の場合、実際に痛みを感じている脳に、感覚受容器を通じてアプローチすることで改善するケースが多くあります」と桃木代表。

こうした施術の結果、保育園の給食調理員だった70代の女性は「痛みで20mしか歩けなかったが、通院して3カ月後には旅行に行けた」と喜ぶ。

トレーニングルームを設け、場合によっては軽い筋トレを取り入れているのも特徴だ。建築関係の50代の男性は右足がしびれて靴も履けなかったが、施術の他、ストレッチ運動を組み合わせたところ、2カ月後にはしびれも麻痺もなくなったという。

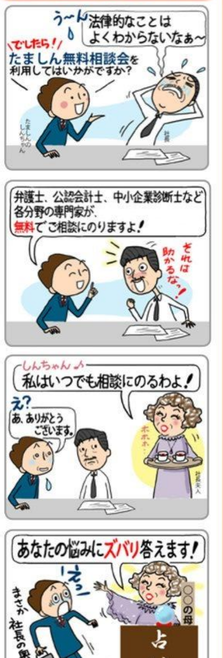
口コミで評判が伝わり、新聞折り込み広告をしなくても顧客が増加し始めた。

「成長期のスポーツ障害『オスグッド』で悩む子どもの施術も行っています。まずは気軽にご予約ください」と桃木代表は温厚な人柄をにじませながら話す。

別室に設けられたトレーニングルーム

ほのぼのしんちゃん

「困った時は たましんへ」の巻


う～ん
法律的なことはよくわからないなぁ～
でしたら!!
たましん無料相談会を利用してはいかがですか?
たましんのしんちゃん
社長
弁護士、公認会計士、中小企業診断士など各分野の専門家が、無料でご相談にのりますよ!
それは助かるなっ!
しんちゃん♪
私はいつでも相談にのるわよ!
え?
あ、ありがとうございます。
ホホホ…
社長夫人
あなたの悩みにズバリ答えます!
えっ!
まさか社長の奥さん!?
○○の母
占い

たましん無料相談会のご案内

たましん事業支援センター（立川）およびたましん事業支援プラザ（多摩センター）では、お客さまの法律、経営・税務、事業承継、創業・コミュニティービジネスに関する課題にお応えするため、各分野の専門家による無料相談会（予約制）を開催しています（ただし法律、経営・税務のご相談は、原則同一内容の案件は1回までです）。
ご予約は、たましん本支店またはたましんホームページからお申し込みください。

会社をアピールするフィルム・グラフィック

外装ラッピングをトータルで請け負う

ジェイトリム・ジャパン

ジェイトリム・ジャパン（小平市、谷内一平社長、042・348・3141）は一般車両や店舗看板にマーキング・ラッピング加工を施す制作会社。コーポレート・アイデンティティやブランディングの課題に取り組む企業をビジュアル面からサポートする。1982年の創業以来培われてきた技術と経験への信頼は厚く、全国70カ所にあるネットワーク拠点には、各地のクライアントから依頼が寄せられる。

主力は車両と店舗のサイン広告事業。外装ラッピング、社用車につけるワンポイントのロゴマークから送迎用のマイクロバス、アドトラックなど中・大型車まで手掛ける。

「企画、デザイン、製作、施行という四つの工程がありますが、全てをお任せいただけるのが弊社の強みです」と谷内社長。スリーエムジャパン社の特殊フィルムを各種取りそろえており、顧客のニーズに応じて最適な解決策を提案。大型プリンターで図柄を印刷・カットしたフィルムを乗用車やトラックなど、それぞれの車両の形に合わせて正確に張りつけていく。曲面に張り付けた図柄でも意図通りに見えるように、施工時はもちろん企画の段階から意匠には細やかな気を配る。

「仕上がりにご満足いただけるように、お客さまとのコミュニケーションを大切にしています」と谷内社長。

現在はオートリース、自動車メーカー、広告代理店からの受注が増えている。東京五輪を控えて、広告関連を中心に需要のさらなる拡大を見込んでいる。

就任3年目の谷内社長。「これからもお客さまのニーズに向き合い、質の高い製品を提供して行きたい」

フィルムの工房に隣接したデザイン室。ロゴ制作などにも応じる

BOB会員・創業会員の皆さまへ

BOB会員情報の更新のお願い

たましん法人総合サービスBOBでは、インターネットサイト「BOBネット」にBOB会員・創業会員さまの会員情報（一部情報を除く）を掲載し、多くの方にご覧いただけるように一般公開しています。会員の皆さまは「自社PR」としてご活用ください。

また、メールアドレスをご変更または新規取得された会員さまも、最新情報への更新をお願いいたします。ご登録・ご変更はBOB会員サイトの「登録情報変更」から入力・変更いただけます。企業情報変更の詳細についてはBOB事務局までお問合せください。

【お問い合わせ先】たましん法人総合サービスBOB事務局
TEL：042-526-7730
BOBネット　https://www.bob-net.jp